

2025年2月6日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
買物公園エリアプラットフォームと連携し旭川市平和通買物公園エリアにおいて、
社会実験『まちにち計画』を実施しました
その結果を踏まえて『まちにち計画アーカイブ・フォーラム』を開催します

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、北海道旭川市からの委託を受け、国内初の恒久的歩行者専用道路である平和通買物公園（以下「買物公園」という。）において、社会実験『まちにち計画』の企画・運営・効果検証等を実施しました。

この社会実験『まちにち計画』は、令和6年3月に策定された「買物公園エリア未来ビジョン」の実現に向けた取組として、まち＝買物公園エリアで過ごす日を「まちの日」＝「まちにち」と呼んでもらい、毎日が「まちにち」となるような思いを込めた計画です。社会実験では、買物公園エリアの魅力や満足度向上を目指し、令和6年8月11日（日）～9月7日（土）までの28日間にかけて、滞在空間の創出、バスキングエリアの設置（簡易な申請による道路空間の活用）、電動モビリティの運行等を行いました。

社会実験の結果、来訪者や沿道店舗事業者から取組に対する満足度が高く「滞在空間の設置」などに対して今後の継続を望まれることがわかったほか、電動モビリティは観光客や地元の方など、また子供から高齢者まで幅広く利用されました。

これらの結果を市民等へフィードバックするとともに、取組を日常的な活動として継続させていく意見交換の場として『まちにち計画アーカイブ・フォーラム』を開催します。

なお、この社会実験は『旭川市』と『買物公園エリアプラットフォーム』が実施した取組です。

同社は、今後もウォーカブルなまちづくりの実現に向け、ハード・ソフトの両面から取組・対策をご提案し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなか創出の支援を行ってまいります。

【まちにち計画アーカイブ・フォーラムの開催概要】

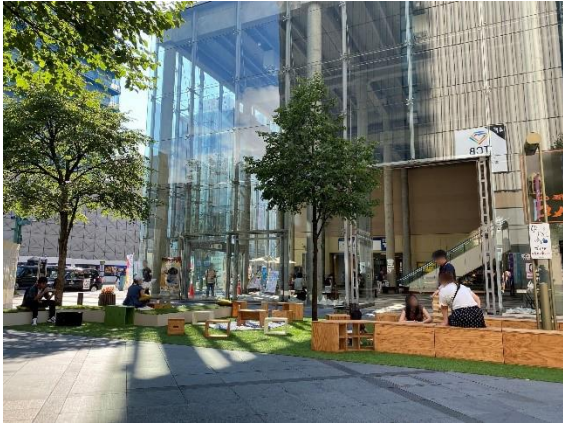
- 日時：令和7年2月11日（火・祝）13：30～15：30（予定）
- 会場：旭川デザインギャラリー
- プログラム：
社会実験「まちにち計画」で見えたこと
トークセッション「テーマ：社会実験から日常“まちにち化”へ」
会場参加者とのクロストーク ほか
- 登壇者：横浜市立大学・鈴木伸治教授、中央大学・三浦誌乃准教授、旭川市、買物公園エリアプラットフォームメンバー、株式会社オリエンタルコンサルタンツ買物公園プロジェクトメンバー 等
- イベントURL：

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/event/category-05/d081170.html>

【社会実験「まちにち計画」の実施概要と結果】

●滞在空間創出の実験概要

旭川駅前周辺から買物公園へ歩くきっかけをつくるために、買物公園内の4か所に、居心地が良く、行きたい目的地となり得る滞在空間をつくり、エリア全体の移動（回遊）を促しました。滞在空間では旭川地域の木材を活用して製作したベンチやテーブルを設置するとともに、空間を活用した各種イベントを開催することで、買物公園エリアでの滞在時間が普段と比較して、「30分以上滞在した」と回答した方の割合が約8%増加しました。（来街者アンケート調査より）



< 1条エリアで人工芝やロングベンチ等を設置 >



< 4条エリアで芝ステージや遊具等を設置 >

●バスキングエリアの設置

滞在空間内に簡易な手続きで利用できる空間（バスキングエリア）を設定し、出店・販売、音楽演奏、イベントなど、バスキングエリアを活用したい方を募集しました。

その結果、申込応募者数は57件、総出展回数は123件（日平均4.4件）あり、「展示」「遊び場提供」「トーク・座談会」など、多様な利用需要が確認できました。



< 4条エリアで箱型ステージを活用した
ART&DJ NIGHTを開催 >



< 5条エリアで沿道店舗と連携した
朝カフェを開催 >

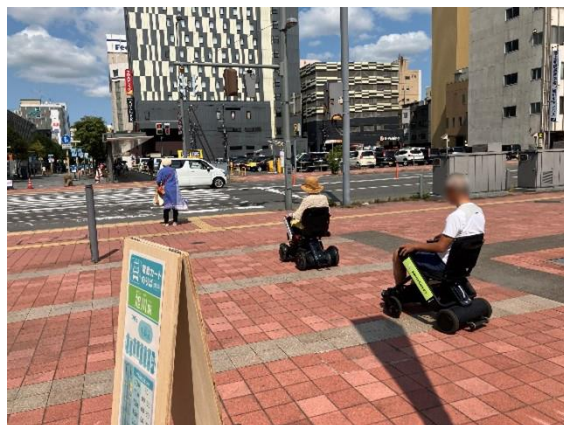
●電動モビリティ運行実験の概要

人の流れがエリア全体に広がるよう、「滞在空間創出」と連携し、電動モビリティ（電動カート、電動車いす、電動キックボードの3種類）を使えるサービスを提供しました。また旭川駅前北口広場では、電動モビリティの乗り場の傍らにテラスセットやキッチンカーを置いた「モビリティ・ハブ」を設置しました。

電動カートの延べ利用者数は1,139名（2週間運行）、電動車いす「WHILL」のレンタル利用者は60名（9日間貸出）、電動キックボードの乗車体験ツアー延べ参加者は60名（4日間）と、電動モビリティを使いながら街を楽しむ方が多くいらっしゃいました。



<電動カート運行の様子>



<電動車いすレンタル利用の様子>



<電動キックボード乗車体験ツアーの様子>



<モビリティ・ハブ設置の様子>

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司